

私たちはこの笑顔を守ります



消防出初式 (R7.1.5)

令和6年第4回対馬市議会定例会の概要

令和6年第4回定例会が12月3日から12月17日(15日間)の日程で開かれ、認定案を除く24件の提出議案等について審議されました。

一般質問は8人が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な議案

予 算 案 7件

(令和6年度対馬市一般会計補正予算(第8号) ほか)

全件 可決

認 定 案 8件

(令和5年度対馬市一般会計歳入歳出決算の認定について ほか)

全件 認定

条例改正案 6件

(対馬市一般職員特殊勤務手当条例の一部を改正する条例 ほか)

※1 対馬市部設置条例の一部を改正する条例

可決 5件
継続審査 1件 (※1)

議 決 案 7件

(対馬市観光情報館ふれあい処つしまの指定管理者の指定について ほか)

全件 可決

承 認 予 算 2件

(専決処分の承認を求めることについて(令和6年度対馬市一般会計補正予算(第6号) ほか)

全件 承認

意 見 書 案 1件

(有人国境離島法の改正・延長を求める意見書)

可決

そ の 他 1件

(委員会の閉会中の継続審査について)

可決

※ 議案、審議結果は対馬市議会
ホームページに掲載しています。

議 案



審議結果



3月定例会の お知らせ

令和7年第1回定例会は、2月中旬に開催を予定しています。
※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



■ 総務文教常任委員会報告

委員長 陶山 莊太郎

付託案件審査報告

【議案第61号】 令和6年度対馬市一般会計補正予算（第8号）

● 主な歳入の内訳

・ 地方特例交付金、地方交付税（普通交付税）、財産収入（各種基金利子）、寄附金（企業版ふるさと納税寄附金）及び、諸収入（消防施設移転補償費）の追加

● 主な歳出の内訳

・ 小鹿バス停待合所解体などの工事請負費の計上、CATV機器改修などの需用費、移住・定住推進事業補助金の追加
・ 中学校教師用教科書・指導書購入、庁舎・学校などの修繕等に係る需用費及び工事請負費の追加

◆ ◆ ◆ 委員からの意見 ◆ ◆ ◆

・ 庁舎建設整備基金は、場所や時期を明確にし、適切な管理・運用をしてほしい
・ CATV機器の改修は、中古品やリースなど、安価での改修も検討してほしい

【議案第74号】 対馬市仁田ダム運動公園の指定管理者の指定

・ 令和7年度から11年度までの5年間、対馬ゴルフ倶楽部を指定管理者として指定。指定管理料は発生しない

◆ ◆ ◆ 審査結果 ◆ ◆ ◆

【議案第61号】

原案のとおり可決

【議案第74号】

原案のとおり可決

所管事務調査報告

調査日 令和6年10月24日
教育委員会事務局

厳原小学校の建替え計画事業

● 厳原小学校の現状

・ 校舎は昭和40年、体育館は昭和44年に建設され、老朽化が激しい。特に、外廊下は児童の安全な学校生活、給食運搬時の衛生面に多大な支障をきたしている

● 建替えのスケジュール（計画）

・ 市街地に学校用地の適地がなく、現敷地での建替えを計画し、現在、基本計画まで終了

・ 設計、実施設計を行った後、資材搬入のため体育館を解体し、現在のグラウンドに体育館、校舎の順に建設

・ 旧校舎を解体・整地し、グラウンドに改修
・ 体育館の解体からグラウンド改修まで9年間を要する計画

● 事業における主な問題点

・ 体育館は4年間、グラウンドは9年間にわたり、長期使用不能

● 今後の対策

・ 体育等の授業や行事の際は、小型バスで清水ヶ丘多目的広場・体育館、対馬高校及び交流センターへの送迎等を検討

◆ ◆ ◆ 委員からの意見 ◆ ◆ ◆

・ 学校適地の再検討や近隣学校との統合を早め、スクールバスの運行など、体育館・グラウンドの使用不能期間を解消してほしい

対馬市立学校の統廃合

● 統合の基本的考え方（基準）

・ 小学校は6学級、児童数70人以上、中学校は3学級、児童数50人以上が適正規模の目安

・ 通学距離と時間は、スクールバス通学を基本とし、小学校は20km、40分以内、中学校は25km、50分以内

・ 通学区域は、原則、小・中学校同一区域

● 統合の進め方（基準）

・ 2年間の統合協議期間で、保護者説明会及び地区説明会を実施

・ 合意を得た場合、1年間の準備期間でPTAや地区住民で閉校準備委員会を設置し、閉校準備を実施

● 令和5年度までの状況

・ 豆酺中学校・今里小学校・仁田中学校・美津島北部小学校で保護者説明会を実施
・ 豆酺地区は、小・中学校とも久田に統合する合意がとれ、地区も合意したことから、令和8年度に統合予定。他は、今後協議を実施

◆ ◆ ◆ 委員からの意見 ◆ ◆ ◆

・ 子どもたちのより良い学校生活を最優先に考えて、早期に説明会を実施し、円滑な計画推進を図ってほしい

■ 厚生常任委員会報告

委員長 島居 真吾

付託案件審査報告

【議案第61号】 令和6年度対馬市一般会計補正予算（第8号）

● 主な歳入の内訳

- 特別障害者手当給付費負担金の8020運動、口腔保険推進事業費補助の追加
- 社会保障生計調査業務委託金の計上
- 子ども医療費助成事業債の追加
- 高齢者移動費助成事業債の減

● 主な歳出の内訳

- 二輪車等に係る軽自動車税申告手続きのオンライン化対応業務のためのシステム改修委託料及び過誤納還付金の追加
- 生活困窮者自立相談及び就労準備支援事業費負担金、子ども・子育て支援交付金の計上

- 対馬市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、認知症対応型共同生活介護施設（グループホーム）を整備するための介護施設事業補助金の計上
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金、出産・子育て応援交付金等の国費、県費精算返還金の計上

- 対馬市斎場「つつじの苑」に係る燃料費と光熱水費、火葬用機器のメイン通信制御ユニット（シーケンサ）とタッチパネルの取替修繕料及び火葬件数の増加に伴う火葬管理委託料の不足見込みによる追加

◆ 審査結果 ◆

原案のとおり可決

所管事務調査報告

調査日 令和6年10月29日

対馬市生ごみ等堆肥化施設、汚泥再生処理センター・厳美清華苑、対馬クリーンセンター

市民生活部

● 対馬市生ごみ等堆肥化施設

- 令和5年度の堆肥化実績は、事業所59か所から163・3t、一般家庭2,288世帯から177・4tの生ごみ回収。総量340・7tの生ごみから、29・6tの有機肥料「堆ひっこ」が作られ、27・53tが有効活用された

● 汚泥再生処理センター・厳美清華苑

- 1日の処理能力は81kl、処理方法は膜分離高負荷脱窒素処理方式と発酵方式。令和5年度のし尿処理施設の使用台数は15,129台、使用料は、4,689,990円。汚泥堆肥「ありねよし」は、13,214袋が有機肥料として無料で配布された

● 対馬クリーンセンター

- 令和5年度のごみ搬入量は、可燃ごみが約7,796tで、総搬入量は約11,559t、ごみ焼却量は、11,096t。リサイクル品は、総引取量は約1,025t、引取金額は17,984,774円。焼却施設の焼却量と焼却経費の実績については、ごみ焼却量が11,096t、経費は、519,819千円。最終処分場に埋立可能な全埋立量は39,

000m³、平成15年度埋立開始からの埋立量は、約16,512m³となっており、埋立可能年数は、27年後の令和32年度までと推定されている

◆ 委員からの意見 ◆

- 安神地区の人口減少に歯止めをかけるためにも、施設職員はなるべく地元採用をしていただきたい



（対馬市生ごみ等堆肥化施設）

産業建設常任委員会報告

委員長 坂本 充弘

付託案件審査報告

【議案第61号】令和6年度対馬市一般会計補正予算（第8号）

●主な歳入の内訳

- 森林環境譲与税の追加
- 博物館維持管理に係る県負担金の追加
- 県地籍調査事業補助金の減
- 漁業就業実践研修事業及び離島漁業再生支援事業返還金の計上
- 県工事河川・港湾事業債及び漁業用燃油対策事業債の追加

●主な歳出の内訳

- 県地籍調査測量委託料の減
- 漁業用燃油高騰対策事業補助金の追加
- 森林環境譲与税活用基金積立金の追加
- 加志川総合流域防災工事負担金の計上
- 道路維持補修工事費及び県港湾事業負担金の追加

【議案第71号】対馬市公園等設置条例の一部を改正する条例

●改正理由

- あそうベイパーク多目的広場で施工中の遊具設置工事が年度内完成予定のため、幅広い年齢層の利用促進を図る。また、移動販売利用者の利便性向上を図る

●改正内容

- 第6条第1項で規定する多目的広場の使用料を別表第2から削除、第2項別表第3で規定している指定管理者に管理させる移動販売の許可施設の欄に「あそうベイパーク」を追加。交付の日から施行予定

【議案第73号】対馬市観光情報館ふれあい処つしまの指定管理者の指定について

令和7年度から11年度までの5年間、一般社団法人対馬観光物産協会を指定管理者に指定。指定管理料は発生しない

【議案第75号】体験であい塾匠の指定管理者の指定について

令和7年度から11年度までの5年間、「匠」運営協議会を指定管理者に指定。指定管理料は年243万円

◆◆◆ 審査結果 ◆◆◆

【議案第61号】

原案のとおり可決

【議案第71号】

原案のとおり可決

【議案第73号】、【議案第75号】

原案のとおり可決

所管事務調査報告

調査日 令和6年10月31日

湯多里ランドつしま指定管理事業の現状と課題について

観光交流商工部

●調査内容

- 湯多里ランドつしま指定管理者である㈱クリルは、同社社長全額出資の㈱サクラへ、ほぼ全業務を再委託させる形で実施させているため、再委託の禁止条項に抵触する可能性が高いのではないか。また、

㈱サクラで雇用している従業員の9月分賃金一部未払いが発生したことにについて調査を実施

●調査結果

- ㈱サクラは、指定管理者選定委員会における対馬市の意向により市内に設立したもので、再委託の禁止に抵触する第三者とは捉えていない

- 従業員賃金の一部未払いについては、事実であり、早急に支払うよう指導。翌日全額が支払われた

- 労働基準法第24条における賃金支払いの5原則を遵守し、法令と労働条件通知書に明示された全額を支払うことを勧告

●今後の対策

- 10月支払日から6か月間支払い完了後速やかに支払いを確認できる資料を市に提出。市及び指定管理者が高い意識で法令を遵守し、信用回復と賃金未払い防止に努める

◆◆◆ 委員からの意見 ◆◆◆

- 従業員の給与の遅配や業者への未払金は二度と発生しないよう徹底すること。指定管理者との契約内容、経緯等の事務引継を徹底させること。市職員の業務の適正配置をすること。疑義が生じるような再委託の禁止に関する条文の変更を検討すること

- 今後も指定管理事業が適切に実施されることを望む

行政視察報告

常任委員会で先進地の行政視察を行いました。

詳細については、対馬市ホームページ内、対馬市議会のページに行政視察の報告書を掲載します。

総務文教常任委員会

日時 令和6年11月5日～11月7日

視察先

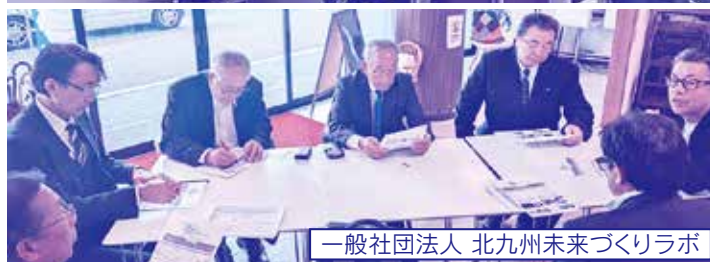
- ①長崎県長崎市
- ②福岡県北九州市

視察内容

- ①県内の特定利用空港の指定について
- ②空き家対策について



長崎県危機管理部、土木部



一般社団法人 北九州未来づくりラボ

厚生常任委員会

日時 令和7年1月20日～1月22日

視察先

- ①鹿児島県志布志市役所 市民環境課
 - ・資源ごみ循環センター
 - ・生ごみ堆肥化施設
 - ・一般廃棄物最終処分場
 - ・資源ごみ中間処理施設

視察内容

- ①5Rの推進に向けた取り組みについて
 - ・ごみの分別収集、生ごみ堆肥化、ごみの再利用・再資源化について
 - ・使用済み紙おむつの再資源化について
 - ・廃棄物処理施設の概要について



志布志市役所 市民環境課



資源ごみ中間処理施設

産業建設常任委員会

日時 令和6年11月7日～11月9日

視察先

- ①熊本県八代市
- ②福岡県福岡市
- ③福岡県北九州市

視察内容

- ①陸上養殖事業について
- ②福岡事務所及びよりあい処 つしまの実績と今後の課題について
- ③宿泊税について



有限会社ひらやま



北九州市役所



対馬市福岡事務所

市政を問う

8名の議員が一般質問

IRIE



入江 有紀…P 7

ITOSE



糸瀬 雅之…P 8

IHARA



伊原 徹…P 8

KOJIMA



小島 徳重…P 9

KURODA



黒田 昭雄…P 9

OURA



大浦 孝司…P10

WAKIMOTO



脇本 啓喜…P10

HADA



波田 政和…P11



入江 有紀議員

◆市長の対馬市職員住宅管理規程違反についての再々質問

(入江) 市長が悪い事をし
たと反省しているのなら、
市長自らこの議会に懲戒処
分を上程すべき。

(市長) 指針の中でもこの
ようなことでの懲戒処分
の規定はないため、しない。

(入江) 3LDKの部屋に
家賃1万9千円で住んでい
た。市況では7万円。差額
を市に返してもらいたい。

(市長) 家賃については、
対馬市職員住宅管理規程で定
められており、市況と比較す
るものではないと思っている。

◆漁火公園の足湯の再開

(市長) 利用者が少なく、
機器の更新費用及び将来の
メンテナンス経費も伴うため、
大規模なリニューアルは難
しい。夏季限定で冷泉足湯
としての利用を検討する。

(入江) 平成15年に8千万
円かけて掘っており、この
ままではもったいない。

◆ヤングケアラーの施設整備

(入江) ヤングケアラーに
対する市の対策・支援策は。

(市長) 本市としては、子
ども、若者から高齢者まで
を対象とした多世代交流の
場として活用できる「みん
なの居場所づくり」として
取り組む。

(入江) 市にヤングケアラー
は8人いる。子ども本人が、
自分がヤングケアラーと自
覚していないのが現状。恵
まれない子どもにも救いの手
を差し伸べることも行政の
重要な役割。

◆対馬市観光施策

(入江) 市の観光行政とそ
の取り組みは。

(市長) 施設については所
管部署の方針や計画等に基
づいた安全な維持管理に努
める。観光地への案内・誘
導、食の情報発信について
はデジタルマップを活用し
ていく。



糸瀬 雅之議員

◆対馬市の財源（歳入）

（糸瀬）新たな財源確保として宿泊税や入島税を検討し、観光地の整備予算に充当できないか。

（市長）国際ターミナル使用料を引き上げたばかりであり、導入について早急な検討は現在考えていない。

（糸瀬）比田勝港埋立地周辺の駐車場整備・管理を行い、駐車料金を徴収し、財源確保に努めてはどうか。

（市長）埋立地の有料駐車場化については、市と県の土地が混在しており、整備・有料化については県との調整が必要。北部対馬アクションプラン策定委員会の中でご意見をいただき、方向性を示したい。

◆物価高騰対策

（糸瀬）対馬市の喫緊の課題

は食料品や燃油の高騰対策ではないかと思われる。今後、基金やふるさと納税の財源を活用して、市独自の支援対策の考えは。

（市長）今後、基金を活用して幅広い継続的な物価高騰対策事業ができないか協議したい。なお、政府において、新たな経済対策として、物価高騰対応重点支援交付金の追加が検討されており、追加交付となれば有効活用できる事業を実施していく。

◆森林環境税の活用

（糸瀬）市は、今後森林環境税をどのように活用していくのか。

（市長）今後は県や市の主催により、市民をはじめ林業関係者に広く周知し、意見を求めることを目的に、対馬市森林づくり座談会を島内3か所で実施する。市民や林業関係者の皆様と協力し、持続可能な森林づくりを今後も進めていく。



伊原 徹議員

◆観光名所の改修期間の周知方法

（伊原）観光地が工事中の場合の周知は。

（市長）市のホームページなどでお知らせしているが、観光目的での来島者には情報量が不足している。デジタルマップを活用するなどわかりやすい案内に努めたい。

◆厳原港及び対馬空港駐車場管理

（伊原）駐車スペースの確保に向けた、長中期駐車の実態調査や県との改善策の協議は。

（市長）厳原港及び対馬空港は長崎県所管であるが、厳原港の管理は対馬市が行っている。長中期駐車などの実態調査は行っていないが、目的外の車両駐車を整理するなど、改善策を協議中。駐車スペース不足は県

も把握しており、駐車場拡張が計画されている。また、対馬空港については、県に對し何らかの対策ができないか対応を求めていく。

◆廃校舎利活用

（伊原）施設周辺の定期的な環境整備は。

（市長）児童生徒数が減少し、今年度は小中併せて二千人を下回る状況である。学校が担ってきた地域コミュニティの中心的な役割存続のため、教育施設の積極的な有効活用促進を進めている。グラウンドや体育館など地区が使用している箇所は、利用者による環境整備や一部外部委託により除草整備作業を行っている。

（伊原）法定検査にかかる管理費の負担軽減は。

（市長）施設の維持管理にかかる諸経費については、募集時に説明している。また、校舎貸付料は3年間無償とし、事業実績により無償期間更新措置を行っている。



小島 徳重議員

◆学校の特別教室空調設備整備状況は

(小島) 温暖化が急激に進行する中、対馬市の特別教室空調設備設置は26・3%で、学校生活に支障が出ている。整備を進めるべき。

(教育長) 児童生徒が安全で快適な学校生活を送れるよう、空調設備の整備を計画的に推進し、教育環境改善に取り組む。

◆議会答弁等事案経過報告の取扱いは

(小島) どのような基準で経過報告書に掲載しているのか。

(市長) 答弁で「検討する」「調査、研究する」との事案が発生した場合、掲載している。

(小島) 掲載すべき事案でありながら、掲載されていない事案が多い。経過報告は、行政と議会・市民とのコミュニケーションを図る重要な役割がある。もっと充実すべき。

(市長) 充実したコミュニケーションが取れるよう努力したい。

◆閉校した浅海中学校跡地の活用

(小島) 浅海中学校跡地を防衛省が取得予定との報道がなされたが、事実関係は。

(市長) 本年8月に九州防衛局から、当該用地を取得し、市街地戦闘訓練や警備部隊等の基礎訓練等を実施したいと説明を受けた。訓練以外にも災害など有事の際の拠点になり得ると考え、売却について前向きに検討することを防衛省に伝えている。防衛省より詳細な説明があり、市民生活に支障がないと判断できれば、近隣住民に対し説明を実施する。

(小島) 地区住民・市民への情報開示、十分な説明をすべき。



黒田 昭雄議員

◆带状疱疹ワクチン接種

(黒田) 市単独で接種費用の一部助成はできないか。

(市長) ワクチンの効果は、特に高齢者に対して、高い予防効果をもたらす重要な予防手段であると考えているものの、市で単独の助成は難しい。現在、国において、定期接種化へ向けての審議がなされているところで、国や県内自治体などの動向を注視しながら慎重に判断していく。

◆海の安全情報は

(黒田) 海上保安庁が運用している三島灯台等の風速計の故障について、早期復旧が出来るよう県とともに働きかけを強めてほしい。

(市長) 市としても、市民の生活及び生産活動に関連

することなので、関係団体とも連携して要望していく。また、海上保安庁等と連携して知り得た情報について、伝達方法を研究していく。





大浦 孝司議員

◆漁船の廃船処理

（大浦）漁民の方が廃船処理を計画したが、見込みより多額で断念した。何か良い方策はないか検討していただきたいと問われた。調査したところ、産業廃棄物処理で割高となり、1トン当たり約10万円かかる実態である。

（市長）今後の対応は、県の廃船処理対策の動向を見ながら、各地域の現状を再確認し、問題解決に向けて検討する。

◆道路管理

（大浦）農道大面線（今里）、市道鑑川線について尋ねる。この2路線は利用度の高いところと、極めて低い所を選定したものである。基本的な管理方針について尋ねる。

（市長）全路線で利用者が安全に通行できるかパトロール点検を実施しているほか、地区の要望、個人から連絡等で箇所を特定し、管理を随時行っている。今後市道・農道に関係なく通行に支障がある箇所を優先し、補修していく。

◆がん検診の不利益

（大浦）がん検診の不利益について、本市の場合どのような実態であるか。

（市長）過去にがん検診で不利益になった事例は確認されていない。

（大浦）がん検診で終わるのではなく、気になる方は専門機関の検査を勧めることも大切なことである。



脇本 啓喜議員

◆気候変動に伴う災害対策

（脇本）国交省は、流域治水のハード面強化予算は限りがあり、それを補うために各自治体にソフト面での対応を呼びかけている。島内各地区において、防災面で自助・互助が十分機能するためにはどのような取り組みを行うつもりか。

（市長）自主防災組織の組織化を推進する。防災システムを更新予定で、線状降水帯予報アラートの発信も可能。SNSを活用して市民からの現地情報の動画受信も検討する。

（脇本）「DXの本来の目的は、単なるデジタル化ではなく、DX推進により本庁事務の効率化を図り、職員を出身地区に戻して現場に

出向かせ、住民サービスの充実を図ること」と質問した際、市長は同感である旨答弁した。ところが、今定例会において、北部建設事務所や北地区保健センターを集約する提案がなされた。これは災害対応に遅れが生じる。集落の地域力の衰退に拍車がかかり誤った政策だ。

（市長）中対馬振興部は8名の職員で災害対策等も十分機能している。上対馬振興部に維持管理担当職員を3名程配置する。人材育成の観点からも本所への集約がベターだ。





波田 政和議員

◆国指定史跡「清水山城跡」は観光名所として案内できる態勢か

(波田) 標高も高く、登城口まで一苦労。個人宅の玄関口を横切り、休憩所もなくハードなコースである。登城しやすく、町並・港を見下ろす景観スポット、市道の整備が急務なのでは。

(市長) 清水山城跡へは、ふれあい処つしまを起点とした徒歩での利用が浸透しており、トイレは対馬博物館や清水が丘多目的広場等にも整備している。道路拡張や駐車場整備は、道幅が狭く民家が建て込んでいる現状では非常に難しく、誘導板等の設置箇所の精査、手すり等の改修、除草等の環境整備を行っていく。

◆上見坂公園を起点とする市道整備

(波田) 棧原地区から上見坂公園への市道は、佐須坂トンネル開通により利用車両も少なくなり、自然災害の後など通行に支障がある。観光道路として位置付けをするならば、管理不足が目立つ。何か妙案は。

(市長) 本市が管理する路線数が多く、自然災害による被害、経年劣化による老朽化等も進んでいる。各路線の通行量等を勘案しながら、維持工事をはじめ、路面清掃、側溝の土砂堆積に対応していく。

◆大手橋の改良についての進捗状況

(波田) 景観も町並も大事なことだが、安全が最優先事項。

(市長) 移設工事費用もかさむため、市街地の整備事業で、橋梁の端部に隅切り部を設け、目視が容易になるように進めている。

総務文教常任委員会 意見交換会報告

対馬市PTA連合会・対馬三高校PTA連絡協議会

令和6年11月17日(日)

総務文教常任委員会は、対馬市交流センターにおいて、対馬市PTA連合会、対馬三高校PTA連絡協議会の役員にご出席いただき、意見交換会を開催しました。まずは、会に先立って、対馬市幼・小・中・高合同PTA研修大会に参加いたしました。持続可能な活動の発表、講演、教育対談などで、家庭教育と教職員の向上を図る素晴らしい会でした。

次に、会議室において、いじめと不登校、長崎県立特別支援学校小・中学部の設置、厳原小学校の建替えと学校の統廃合について意見交換しました。学校の統合などで、不登校の児童生徒の増加が予想されるので、保護者や学校での実態把握と議会との情報共有で、早期対策を図ること、上地区の特別支援教育充実のため、サテライト教室の状況確認のほか、療養施設などの設置の要望、厳原小学校建替えは、グラウンド・体育館の長期使用不能を解消するため、就学前の保護者を含めて協議することなど、活発な意見交換を行い、教育を受ける権利を有する子供を中心に置き、より良い教育環境構築のため、協力することで一致しました。



決算審査特別委員会レポート

令和6年10月2日から4日の3日間、決算審査特別委員会が開催され、令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定について審査が行われました。

令和5年度決算では、歳入、歳出ともに減となっており、普通建設事業費及び新型コロナウイルス関連事業の減少が主な要因となっております。歳入においては、前年度と比較すると率にして1.5%の減、歳出においては、1.0%の減となっております。

本市の自主財源の柱である市税の収納率は89.79%と、前年度より0.14%ポイントの下降となっているものの、前年度から引き続き高い収納率を維持しています。

しかしながら、本市の財政状況は依然として自主財源が乏しい脆弱な構造が続いており、貴重な財源である税収入を確保するため、また、税負担の観点からも、滞納の早期解決を図るなど、引き続き市税の徴収強化に努めていくことが重要であると報告がされました。

◎詳細は広報つしま1月号に掲載しています。



編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は、年明けから能登半島地震をはじめ、凄惨な出来事が相次ぎました。被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

対馬では市制施行20周年に係るイベントが島内各所で開催され、対馬の発展を祈念しました。

さて、今年の幕開けには、東京箱根間往復大学駅伝競走で東部中学校出身の網本佳悟選手が、区間賞と4秒差の区間第2位で3人を抜き、東洋大学がリード権を獲得する快走を見せてくれました。

今年は、再生と変革の象徴である「巳年」です。対馬においても課題は山積みですが、網本選手の活躍に負けず、新たな20年への飛躍の年となるよう、市民一丸となって取り組んでいきましょう。
(文責…陶山荘太郎)



議会広報編集特別委員会
 (委員長) 陶山荘太郎
 (副委員長) 入江有紀
 (委員) 坂本 充弘、神宮 保夫、島居 真吾、小島 徳重